

午前の部 WISC-IVの概要

WISC-IVの基本的な概要の説明がありました。検査の構成では、下位検査の概要と各下位検査が測っている側面について取りあげられ、各下位検査での観察点、検査時の言動などを含めた評価の必要性について言及がありました。各数値の意味を把握するにとどまらず、行動観察も含め受検者がどのような特徴を有しているかを把握し「支援に繋がる解釈」をするという WISC の実践的な活用法を学ぶ機会となりました。



午後の部 WISC-IVの解釈

午後は、事例を通じた解釈法を取りあげました。その事例の主訴・基本情報、検査結果を通して、どのように解釈していくかについて例示がありました。基本的な解釈の流れに加え、指標間差の解釈の視点やそこから考えられる支援法、下位検査間の比較により読み取れること、そして近年注目されている一般的能力指標や認知習熟度指標を用いた解釈法など、多くの視点が示されました。次に、参加者に参加してもらい各数値、4 指標得点を中心に、検査結果を解釈し、指導方針を考えました。講義形式が中心でしたが、参加者も実際に解釈を行う、体験的な研修会となりました。また、報告書の作成の仕方、載せる情報の範囲など作成における注意点の説明と共に、安住先生が実際に作成した心理検査報告書の内容もご紹介いただきました。

講師紹介 安住ゆう子先生

NPO フトゥーロ LD 発達相談センターかながわ 所長
東京学芸大学大学院修士課程学校教育専攻/発達心理学講座卒業

【著書】

『子育てサポートブック』（編・共著/LD 発達相談センターかながわ）
『自立のためのLD 指導プログラム』（共著/LD 発達相談センターかながわ）
『教室でできる特別支援教育のアイデア小学校編』（分担執筆/図書文化）
『あたまと心で考えようSSTワークシート 自己理解・コミュニケーションスキル編』
『あたまと心で考えようSSTワークシート 社会的行動編』（ともに「かもがわ出版」）
『子どもの発達が気になるときに読む 心理検査入門』（編著/合同出版）



まとめ

WISC-IVの概要から基本的な解釈の仕方、そして詳細な観察の視点など、1 日講習でも時間が足りないと感じるほど多くのことを学ばせていただきました。事例を通じて、支援に繋がる解釈の仕方を教えていただきました。安住先生、本当にありがとうございました！

2016 年度 WISC-IV 研修会のお知らせ

2016 年度も WISC-IV 研修会の開講が決定いたしました！

今回は大勢の皆様のご要望により、参加者様のレベルに合わせて 2 日間の開講となります。

初級編：7 月 10 日（日）、中級編：9 月 11 日（日）、いずれもユニコムプラザさがみはらでの予定です。

詳細は決定次第、当法人ホームページ（<http://msak.jp/kenshu>）にてお知らせいたします。